

## 図書館だより

'01.04

## 春のことば、春とことば

中村 涼(人間生活学部 人間生活学科)

「『春』、...花、桜、花見、花見酒...」おとつと、連想が行き過ぎました。昨年3月まで、ちょうど入学式の頃に桜が咲く土地で生まれ育ってきた私にとって、「春」といえば「花」、それも「桜」が一番に頭に浮かびます。でも、「『春』...まずは雪解け」を待ちわびるこの北の大地で、「花」への連想経路を止めた私の頭に次に思い浮かんだのは、自分でも意外なことに、「ことば」でした。

自分自身もしくは身の回りで何かと変化の多いこの時期、不安を感じたり緊張することも少なくありません。そんな時、「ことば」は元気を出した

り、こころを落ち着けるおまじないになってくれます。さて、私の書棚を見回して、春に似合うことばを探してみませんか。

まず最初に手に取ったのは、歌人俵万智さんの短歌と文に、美しい花の写真が添えられた「花束のように抱かれてみたく(写真：稲越功一、同朋舎)」です。う～ん、やっぱり春と花は私の中で強力に結びついているようです。



## 目次

春のことば、春とことば ..... 1  
中村 涼

新入生へのメッセージ ..... 6  
佐々木望・佐藤英恵

緊急レポート!!図書館が変わった!! ..... 4

お知らせ ..... 8

春の野にふと舞いおりの朝のため

羽を休めているスイトピー

好きな花ベスト3に、どんな気分や季節のときもスイトピーだけは欠かせないと言う俵さんは、「ゆるやかに波をうつその姿は、飛び立つときを待っている、小さな蝶のようにも見える。」と書いています。新しい学校や職場へ出かけるとき、初対面の人に会うとき、そして最近の私ならば学期始めの講義へ向かうとき、今から「飛び立つ」のは自分だけではないと思うと、少しだけ気持ちが楽になるような気がします。そして可憐なスイトピーの花が蝶に姿を変えて舞い上がる瞬間を思い描いて、「よし！」と気合を入れるのです。けれど、頑張り過ぎはからだにもこころにも毒。うまくやってきたつもりでも、壁にぶつかることだってあるでしょう。最近ずっと忙しくて休む暇もない、もしくは周りがみんな春めいているのに自分だけその波に乗れない、そう思うときは、あえて

立ち止まりしゃがんでみようたんぼぼが

世界を見ている高さになって

いつもと違う視点から周囲を見まわしてみると、見慣れた景色の中から何か新しいものが見えてくるのかもしれない。

そういえば、私の書棚には他にも俵 万智さんの本が何冊か並んでいます。続けて彼女の本を開いてみ

ましよう。

次の本は、彼女がまだ県立高校の国語の先生をしていた時の作品集「[とれたての短歌です。](角川書店)」。浅井慎平さんのちょっと幻想的な写真も一緒に楽しめます。この本の中で目に止まったのは次の歌です。

まだ何も書かれていない予定表

なんでも書けるこれから書ける

この歌は、年齢や立場によって感じ方が異なるかもしれせん。スケジュール帳に空白の日があると強い不安や孤独を感じる若者の話を聞いたことがあります。だいたい4月は何かと行事が多くて誰のスケジュール帳も空白が少ないのだけれど、5月の連休を過ぎるとひと落ち着きしてきます。そんな予定の空白がころころにも「ぼっかり感」を生じさせるのでしょうか。ところが私は、大学院とくに博士課程に進んで以来、予定表に何も書かれていない日があると、ほっとするようになりました。時には、「ここにはもう何の予定も書きたくない！」とばかりにその空白日をマーカーペンで囲みたくなることもあります。ここ10年近く、私の年間予定表は常に、大学の行事や授業の予定の他、学会、研究の予定、さまざまな書類や原稿の締切日が書かれ、その合間に友人の結婚披露宴の日取りが書き込まれていたりします。そして毎年、年度始めの春、すでにいくつものスケジュールが書きこまれた予定表を前にして、赤く記

された締切日を数えながらため息をついてしまうのです。

でも、北海道での初めての冬を越した私は今までとちょっと違います。1年365日、すべての日がノルマで埋まったわけなし、まだまだ「これから書ける」楽しみがあるではありませんか！思い返せば、研究も学会参加も元は自分が望んで始めたことです。学生時代、授業を受けることができ、そして今、授業をすることができるのも大学の一員であればこそ。つまり、一見他から与えられたように思っていた予定やノルマも、よくよく考えてみれば「まだ何も書かれていない予定表」に書きこんだのは私自身であることに、気がつきました。

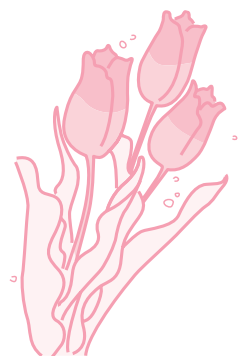
先の歌をよみ返しながら新しい気持ちになった私は、別の書棚へと移動しました。最後に手にしたのは本ではなく、かつてある専門学校で英語を教えていた時の講義ノートです。その学校の学生の多くは、英語に苦手意識を持っていました。実は私も英語が不得手です。ならば、お互いに楽しめる英語を勉強しようじゃないかと、グリーティング・カードの書き方や、洋楽や絵本を教材に授業をしていました。そして毎週、授業の最後に「本日のおことば」と称して、洋画の中の名台詞や英語のことわざなどを紹介していたのです。その中に、毎春、最初の授業で「私から皆さんへ入学祝の代わりに」と言って板書していたことばがあります。

*You have to build your own fortunes  
and make your own future.*

(自分の運命は自分で築き、自分の未来は自分で創るのだ。)

残念ながら、出典がわかりません。話が少し飛びますが、米国の研究で、出来事に対して自分の力で変化を起こすことができると考える人は、ストレスの影響が軽くてすむことが報告されています。周囲への感謝の気持ちを常に忘れないよう肝に銘じつつ、自分の人生を創っていくのは自分自身なのだと、花川のパンoramaを見渡しながらかめて思う春です。

皆様の新年度、そして新入生の皆様の4年間が幸多き日々でありますように。



資料紹介

『とれたての短歌です。』

俵万智、浅井慎平著

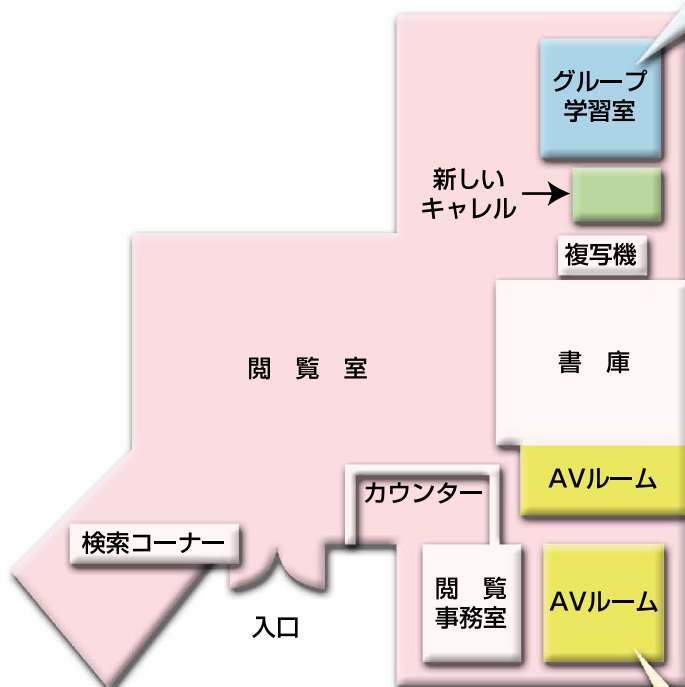
角川書店 1987

本館 911.168/Ta97

# 緊急レポート!!図書館が変わった!!

新学期に図書館へ来てみて、びっくりなされた方も多いのではないのでしょうか？  
そうです。図書館は春休み中、大きく変わりました。では、新しくなった図書館と一緒に歩いてみましょう。

まずは2F閲覧室から…



## グループ学習室

皆様に今までご不便をおかけしていましたが、ついに、本館にもグループ学習室が設けられました。

室内には参考図書も置かれ、ゼミの予習等、様々な用途に適しています。

利用の詳細は係にお問い合わせください。



\* 閲覧室のレイアウト変更に伴い、資料も移動しています。詳しくは館内案内図、または利用のしおりをご覧ください。



## AVルーム

従来のAVルームの他に新しいIAVルームができました。ここにはCD-ROM端末とマイクロ機器が設置されています。マイクロフィルムもみなさんの手取りやすいところに移動しましたのでたくさん利用してください。



## 書庫 1～3層には文学関係の図書が入りました。

書庫 1層まで降りてみると...?あれっ?こんな所に階段が!?



昨年まで食堂だった部分が、「地下集密書庫」として生まれ変わりました。新入生の皆さんはここが食堂だったなんて、信じられないかもしれませんね。設置された電動集密書架の収容可能冊数は、約13万8千冊。これにより、今まで館外資料室等に分散して収容されていた資料が、閲覧室、書庫、そしてこの地下集密書庫にすべて収容できることになりました。



もちろん、利用者は自由に入ることができます。今までは、利用時間に制限があるなど、館外資料室の利用にはご不便をおかけしていましたが、これからは開館時間中にはすべての資料を利用いただけることとなります。



集密書架はボタンを押すと開閉する電動式です。多くの資料を収容できるように、通常は書架と書架の間のスペースを閉じていて、見たい資料のある書架のボタンを押すと通路が開くしくみになっています。安全装置が付いていますから、まちがって挟まるなんてことはありません。ご安心ください。

地下集密書庫には、検索端末2台も設置し、閲覧室まで戻らなくても資料を探ることができるようにしました。また、コピー機も1台設置しています。閲覧スペースやキャレル(個席)もありますので、ゆっくり座って本を読むこともできます。

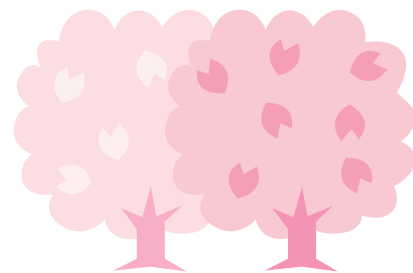


また、閲覧室に設置してあった目録カードも、地下集密書庫の隣の部屋へ移動になりました。洋書の中にはデータ整備中のため、OPACでは検索できない資料があります。それを補うため、こちらの目録カードをご利用ください。

新しくなった図書館はいかがでしたか?  
みなさんのご利用をお待ちしています。



新入生のみなさんご入学おめでとうございます!!  
図書館はもう、利用してみましたか?  
今回は2人の先輩からみなさんへの  
メッセージをいただきました。



文学部国文学科4年  
佐々木望

この大学で一番素敵な場所は、この図書館だ。この図書館は、夏は暑くなく、冬は暖かで居心地がよい。私は何か特別な用事がなくても、よく図書館にいる。お腹が空いているときには「POROCO」でも眺め、今度行ってみたいお店をメモし、疲れているときなどは「ちくま」などを見て心を和ませる。空き時間などはDVDやビデオもみられるようになってるので、少しの間逃避もできる。

藤の図書館は開架式と言って私達が実際に本を手にとって選び、借りることが出来る。もちろん小・中・高でも開架式だったと思うが、本の量、資料の質は全く比べ物にならない。初めてこの図書館に来たときの驚きを私は忘れない、めくれば今にも破れそうな古い、貴重な本が多くあって、触ってもいいのかためらうくらいだ。しかしもちろん触っても、めくっても良いのだ。私が書庫に初めて入ったとき、手に取った本は「江戸滑稽新聞」か何かだった。それでとても衝撃を受けた覚えがある。やはりここは大学なのだ。

私が図書館で一番気に入っていることは、本の中に挟まってポーッと書架を眺めることだ。書架を眺めているといういろいろなことが目に入ってくる。‘今度はこの

本を借りよう’と目星をつけたり、‘今こんなことがはやりなのね’と妙に納得したり。私にとって本は装丁も重要なので、装丁がきれいな本には自然と目が行き借りたくなる。自分に関係ないと思っている分野の書架でも眺めていると面白そうな本がけっこうあり、新鮮に感じる。読まず嫌いは損だなと。藤では通常、本が30冊借りられる。しかも16条校舎の図書館だけではなく、花川館の本も借りられるので、あわせて60冊借りられるのだ。その上バーコードの付いてない雑誌はそれとは別に借りられる。こんな大学はめったにないのではないかと思う。この大学が声を大きくして主張できることの一つだと思う。特にゼミの発表の時には一番図書館にお世話になる。日本文学で使う資料はかなり揃っているの、あれもこれも結局10冊は借りてしまう。また資料探しは自分でパソコンで検索して調べるが、わからないときなどは図書館員の方に聞くと一緒に探してくれたり、調べてくれたりする。とても親切に丁寧に調べてくれる。またインターネットを使った雑誌検索と新聞検索もできるようになったので更に便利になった。インターネットと言えば、知っている方も多いと思うが、自分のうちでも藤のホームペー

ジから図書館のホームページに行って蔵書の検索が出来る。これは本当に便利だ。新入生の皆さんにもぜひ活用して欲しい。

### 人間生活学部人間生活学科4年 佐藤英恵

みなさんは図書館を見て最初にどう思われましたか。本の多さやきれいなことまたはビデオやDVDが豊富なことなどでしょうか。

私も1年生の時、驚いた記憶があります。高校の図書館とは比べられないほど広く、種類が多いので、読むぞと気合いが入っていました。本の冊数は毎年急増しています。花川館は昨年、保育学科が移動してきたことで図書館も増設しました。

図書館は居心地が良いですね。本を選んで過ごしたり、勉強はもちろんのこと、疲れたら画集を見たり、ビデオを見たりできます。私が最も利用しているのは、コンピュータの資料検索と利用検索です。資料検索はレポート課題のための本を探すためであったり、気になる著者の他の本を調べたりしています。利用検索は、自分がどの本を何冊借りているか確認するためのものです。これは自分の学生証の裏の番号とパスワードを入力して調べることができます。私は、借りる曜日を決めていないので、まめにチェックしないとすぐ延滞になりかねません。延滞になると1週間借りることができないので、みなさんも注意してくださいね。

夏休みなど長期の休みになる1週間ほど前から、貸出期間が長くなります。大

新入生の皆さんには本当にうまく図書館を利用し、楽しんで欲しいと思う。

学で忙しくても休みの時に読みたかった本をじっくり読むことができます。小説など人気のある本は早いもの勝ちですよ。また、雑誌や写真集なども休みの間ずっと借りることができるので、私もたくさん借りて楽しんでいます。

藤の大学図書館は、学生のためにいろいろなサービスを積極的にしてくれます。読みたい本・DVDの要望もできます。他大学や石狩市の図書館とも提携しているので、利用することもできます。このようにいろいろなサービスが受けられるのも、私たち学生が利用したいと積極的にしなければ宝のもちぐされですよ。

1年生で分からないからこそたくさん図書館を利用して、図書館員の人に質問してください。図書館の方はやさしくて丁寧に教えてくれます。私もまだ利用していないサービスもあるのでこれから活用したいと思っています。

利用法やサービスについてより多く知っていると、効率良く資料を集めることができます。自分のやりたいことがたくさんできます。また、毎日の生活で知りたいことややってみたいことについての専門的な本があることは知的好奇心を沸かせてくれます。これからの学生生活を楽しむために、みなさんが図書館を利用してもらえるとうれしく思います。



### ※ 学生のみなさんに朗報です!!

貸出冊数が各館 30冊 までに増えました。

### ※ オリエンテーションとガイダンスのお知らせ

図書館では5月中旬以降、新入生のオリエンテーションを予定しています。

また、卒論ガイダンスと新聞記事検索等のデータベースガイダンスも随時実施しておりますので、詳しくは掲示等をご覧ください。

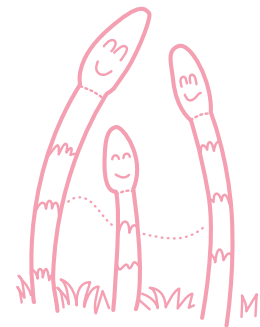
## 石狩市民図書館との相互利用サービスについて

石狩市民図書館との相互利用が1月10日より始まりました。下記のようなサービスを行っています。どうぞご利用ください。

- ・ 石狩市民図書館の利用者登録(利用者カードの作成)が当館カウンターを通じてできます。
- ・ 石狩市民図書館の蔵書を当館カウンターを通じて借用できます。送料はかかりません。
- ・ 石狩市民図書館の蔵書は同館のホームページで調べることができます。

<http://www.ishikari-lib-unet.ocn.ne.jp>

\*その他、詳しくはカウンターでお尋ねください。



## 「図書館だより」が大きくなったことに気づきましたか？

これからは、大きさだけでなく、内容ももっと充実したものをみなさんにお届けしたいと思っています。

そこで、「図書館だより」ではもっと、読者のみなさんの声を掲載したいと考えています。最近読んだ本でおもしろかったもの、感想等、本に関することでしたら何でも結構です。備え付けの用紙に記入の上、図書館に設置してある“図書館だより原稿募集箱”へ入れてください。みなさんからのたくさんの原稿をお待ちしております。

藤女子大学 **図書館だより** 第59号 2001.04

発行者 札幌市北区北16条西2丁目 藤女子大学図書館  
TEL 011-736-5405 FAX 011-709-4770  
<http://library.fujijoshi.ac.jp/index.html>